

ぼくとタコ



鹿児島大学 教育学部
附属小学校 五年八組

安藤静冴
あん どう せい ぞう

応募カード	団体名 鹿児島大学教育学部附属小学校
応募登録番号	11719 研究部門、自由研究
作品名	ぼくとタコ
お名前	安藤静冴
学年	5年
《作品郵送先》「海とさかな」自由研究・作品コンクール係行 〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1141-10 TEL:049-274-7814	

<どうき>

家族で番所鼻に行きました。そこで、小さなタコに会いました。

小さなタコが「カワイイなー」と思ったから調べることになりました。

<目次>

どうき

No 1

タコとの出会い

No 2

ぼくとタコの2週間

No 3~5

生きること

No 6

水族館のタコ

No 7

観察図かんを作る

No 8

ぼくの子で見たタコの観察図かん

No 9~11

たこ漁 みっ着

No 12~21

タコ漁 質問コーナー

No 22

タコを人間にしてみた

No 23

タコのタマゴについて

No 23

タコを食べる

No 24

まとめ

No 24

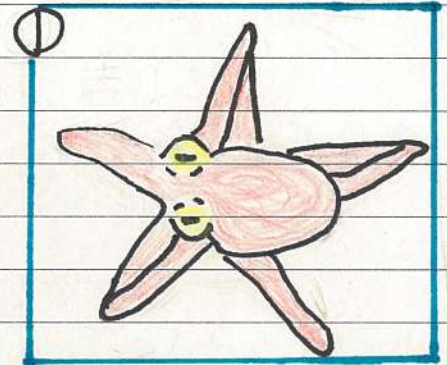
※ この自由研究のタコは、すべてマダコのことです。

タコとの出会い

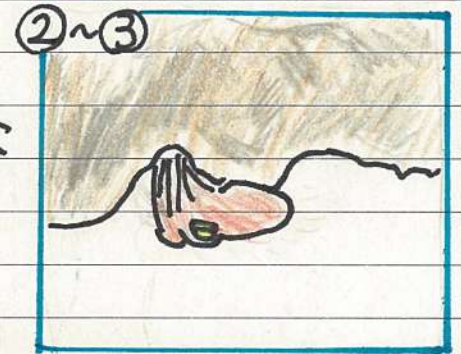
No. 2

H29.11.6

①番所島のしおだまりで遊んでいたとき、岩にヒトデがいました。「ヒトデだ」とバシャバシャ水をかきわけながらヒトデのいる所に行きました。



②近くまで行くと、ニョロニョロとヒトデが動きました。「え」と思ってよく見るとタコだった。



③ぼくがかつかまえようとする、タコはあわててにげるように、岩のあなに入っていた。あなのサイズは、ぼくの人差し指位のサイズだった。

④「せー、たいにタコをつかまえるぞ」という意気込みで小さなあなに小指を入れてほじってみた。



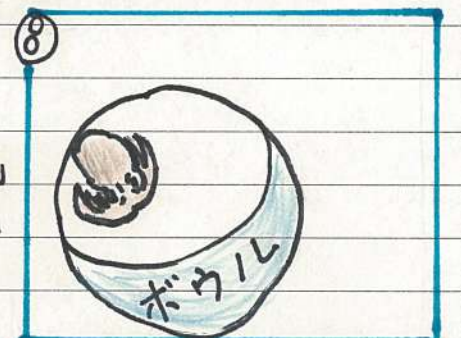
⑤11月の海水はすごく冷たくて、ぼくは、おへそあたりまでつかっていたので全身とりはだか立って体がかくかくふるえた。

⑥タコと戦かうこと約20分、ぼくは、タコをかき出すように小さなあなからひっぱり出した。



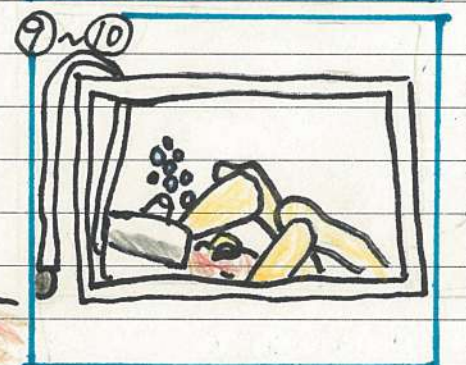
⑦出てきたタコは、ぼくの手の平より小さく、ぼくの手の中で、「やめてよ」というようにあばれていた。

⑧内側が白いボウルの中にタコを入れると、ヒトデのように赤かったタコが、白色に変化した。その時、ぼくは、「ほんとうにタコって色が変わるんだな」と思った。

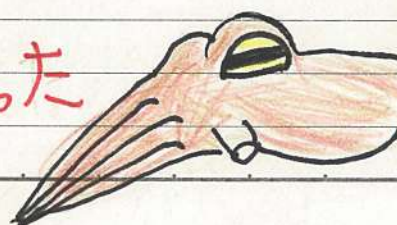


⑨初めて、生きたタコをさあて、「タコって不思議だな」と思っ、て母に「たん生日プレゼントでいいから飼っていい」と言ったら、母に「えー」と言われた。でも姉が「私のたん生日もこれでいいからお願い」と言ってくれた。母は、しぶしぶOKを出してくれた。

⑩タコが死なないように、海遊びをやめ、急いでペットショップに直行して水そうとポンプを買った。



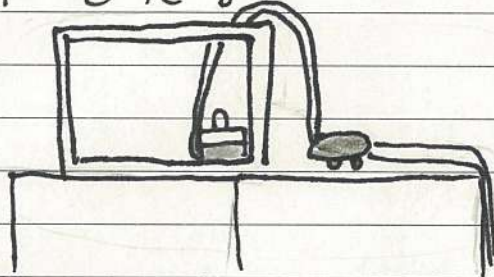
タコの自由研究が始まった



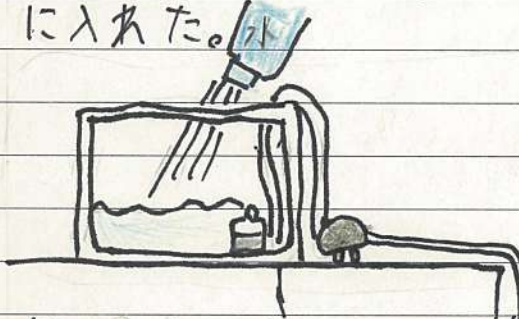
ぼくとタコの2週間

No. 3

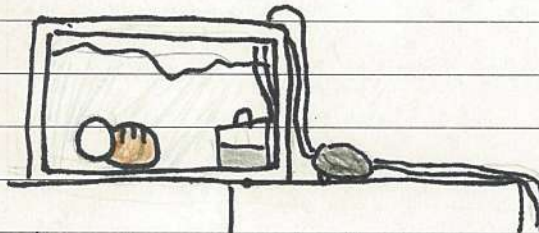
① 水そうとポンプをセッ
ツアップした。



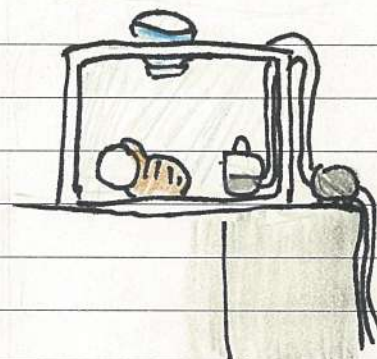
② タコをつかまえた海の水を水そう
に入れた。



③ タコのためにタコっぼも水そうに入
れた。



④ 急にタコを入れるとびっくりすると思
うので、タコの入っているボウル
ごとくかばせた。



水そうの海水と
ボウルの海水を
同じ温度にす
るため。ペット
ショップの人にアド
バイスもらった。

⑤ 30分後、タコをボウルから出して
水そうへ移動した。



シューとタコは泳いで
すみこに行き、体を
小さくちぢめてた。

⑥ 2時間後、エサをあげようとしたら...

タコがいない！

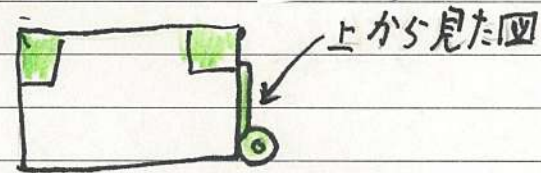
⑦ ビックリしながら水そうのまわり
を見たが、水がゆかに

落ちていた。水をたどっ
たが、タコがいた。

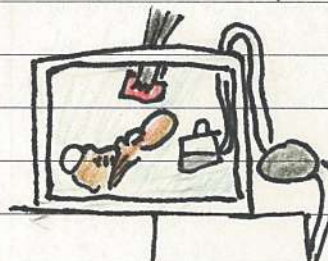


まっくらなのに、**免え強づくえの下の**
よくにげれたな すきまにかき入
っている。

⑧ タコがにげないように、水そうのふたを
テープでくっつけた。



⑨ エサに、マグロのさしみを小さく切って、トン
グを使ってあげてみた。



トングにけいかいしたよ
うだったので、エサを底にしず
めた。

⑩ マグロは、食べていなかった。作日のマ
グロを取り出し、カンパネのさしみを入れ
た。タコがタコっぼに入っていた。

⑪ カンパネのさしみを食べそうにないので、
貝のほうか好きかなと思い、きぬ貝の
むき身あげた。

⑫ や、ほりタコは、エサも食べてくれな...。
ツグがアサリを買ってきてくれたので、き
ぬ貝を取ってアサリを5こ入れた。

⑬ タコは、びっくりするくらいじっとしてい
てほしいのにも思った。



タコっぼの中で
じっとしている。

なんで動いてくれないの？

⑭ アサリが5こもタコっぼの中に入っ
ていた。アサリは、5こも死んでいてカ
ラカ



かたくしていった。タコが
あさりを食べた木炭もなか
った。

タコはなんのためにこんなことをしたんだろ？

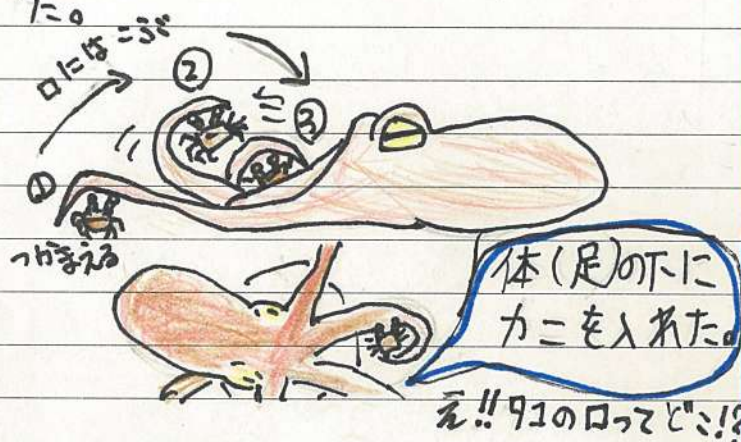
⑮ タコつぼいに入っていた
アサリをタコが食べる
んじゃないかなと思って
そのままにしたけど、
食べない。

⑯ エサを食べてないのて
ぼくは心配になった。
動くエサのほうがいい
のかなと考えて、生き
たかニを海からつかま
えてきた。



⑰ タコの水そうにぼくのつかまえた
カニの中で一番小さなカ
ニをいびき入れた。

⑱ 今までじっと動かなかった
タコが長い足で「ヒューン」
とカニをつかまえあーとい
うまに食べてしまった。
あまりの速さにおどろい
た。



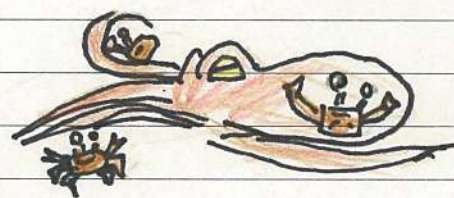
⑲ 小さなタコの頭はすけて
いて、タコの頭の中でカ
ニが動いていた。

頭の中に食べた物
がある! どうして?



食べられたカニ
が生き残っている!
丸飲みにした
のかな?

⑳ いびきでは足りないかな
と思い、さらに2匹
カニを水そうへ入れた。
まだ頭の中にカニが入っ
ているのに、「バシバシ」と
2匹のカニをつかまえた。



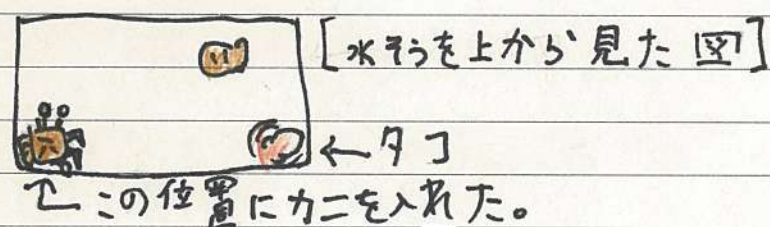
タコは、
動いている物に反
応のうした。

㉑ 毎日、小さいカニを2匹
エサにあげた。食べて
る日もあれば、食べ残し
ている日もあった。

㉒ ぼくは、小さなカニを丸食
みにするタコを見て、タコ
と同じ位の大きさのカニを
水そうに入れたら、タコが
どんな食べ方をするのか見
たくなり、タコと同じ位の
大きさのカニを水そうに入
れてみた。

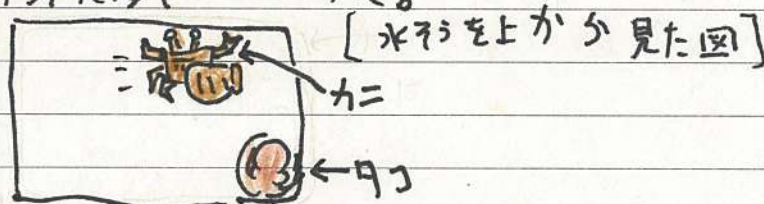


同じ位の大きさ

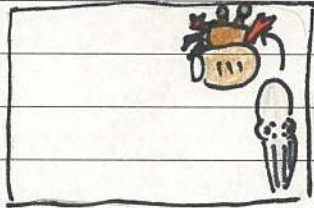


㉓ 入れた直後は、タコもカニは反応し
なかった。

㉔ 約三分後、カニは、タコつぼいのあ
る所へ歩いていった。



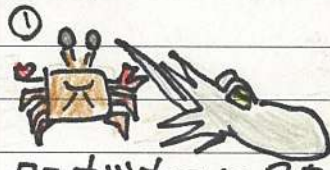
②⑤ カニを水そうに入れてから約5分後、タコはカニに反応して「スー」とカニのいる所へ泳いでいった。その時のタコはうすいはい色になっていた。



→カニのほうへ「スー」と泳いでいる。

②⑥ タコは、カニのすぐとなりにきて、カニの足に自分の足をくっつけようとした。

けれど、カニがタコを「ドンッ」とおすように反げきしたため、体の色を赤くしてにげた。



① タコがカニに足を近づけた。



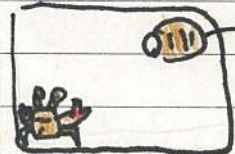
② カニに反げきされる。



③ タコがにげた。

②⑦ ぼくは、「そのうちタコがカニを食うだろう」と思ってカニをそのまま水そうに入れておいた。

②⑧ 朝、水そうを見ると、タコはタコつぼの中でじっとしていた。カニも水そうの角でじっとしていた。



→タコが入っている

②⑨ 昼、水そうを見ると……まっ白になってタコが

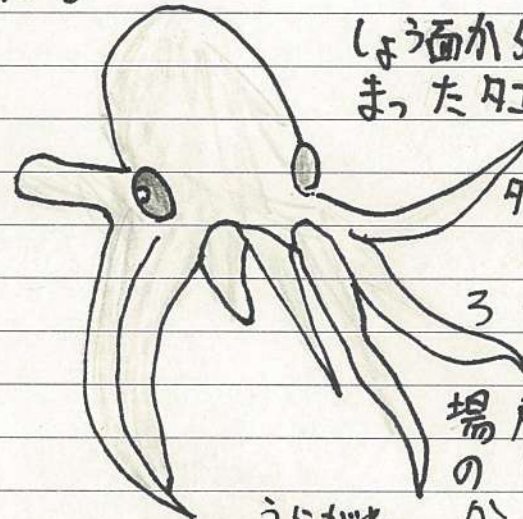
死んでいた……かない。

そして、カニがタコの頭の中をハサミを使って食べていた。



カニに食べられている。

③① ぼくは、死んでしまったタコを水そうから出した。死んでしまったタコを見ると、頭を切られ、足も切られていた。



しょう面から見た死んでしまったタコ。

タコとぶして……

ぼくは、ろうと言われている場所がタコの口で、そこ

からエサを食べていると思

っていた。でもタコの口は

体の下で、ぼくがおしりだ

と思っていた所だった。「タコはゆ

よ。元々は赤くないんだよ」と教え

られてきたけど、生きていたタコは、真赤にもなるし、真白にもなれる。でも、さし

みで売っているゆがいたタコの表面の色とはまたちがう色だと思

うかがわ
こをりかにちが
てはる
ないぞ
うのうな
ものがある

で赤くなるんだ
んだよ」と教え
られてきたけど、

生きていたタコは、真赤にもなるし、真白にもなれる。でも、さし

みで売っているゆがいたタコの表面の色とはまたちがう色だと思

う。ぼくはタコについて金々なにも知らないんだなあと思いました。

生きること

No.

6

ぼくは、タコがえさのカニに食べられて、カニに対して「このカニ最低! 本当にひどい! タコが本当にかわいそう」と言ってしまった。すると、母が、「タコに食べられてしまうカニは、かわいそうじゃないの?」と、言いました。

ぼくは、それまで、カニはタコに食べられてとうぜんと思っていました。その時、はじめて、カニにも、命があって必死で生きていることに気がきました。カニは、「生きる」ために、タコと戦って自分の命を守ったんだなと思いました。

ぼくは、タコを生かすために、カニをつかまえて育てました。



タコの命を守るために……

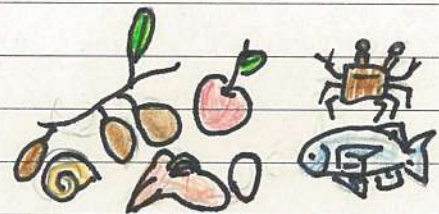


カニの命をいただく

タコを、ぼくに置きかえたが



ぼくの命を守るために……



たくさんの命をいただく

ぼくや みんなが生きてするために、命を育ててくれる人達や、命をもらってきてくれる人達がいってくれること。

スーパーに行くと命があった生き物は、調理やカットがされていて、それか生きていたんだなと思った。それはいいけれど、ぼくに食べられるために殺されてとうぜん命はしつもなく、生きるためにあった命をぼくがいただいていること。

だからこそ、

「ありがとうございます。いただきます。」と、感しゃして命をいただくことが「生きる」となると母と話し合いました。

えさとしてとってきたカニは、大切にせきにんをもって、ぼくが育てていくことにしました。

水族館のタコ

No.

7.

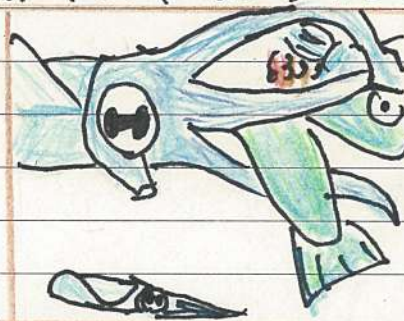
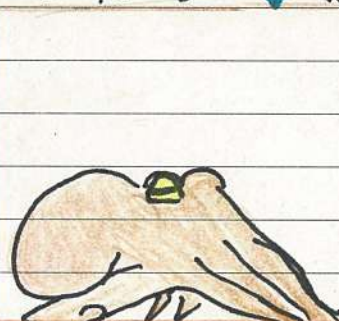
ぼくはたれも見なかったタコの観察回かんを作ると、死なせてしまったタコに約束をしました。ぼくはましかか水族館へ行き、生きたタコを3日間かよって、観察しました。



水族館のタコは、うすぐらい所にいた。水そうの中は、おうじ色のすなと、こゆいはい色の石が入っていた。「タコかいな」と思ってよく見ると石のうしろに、石のように丸まって石のような色をしていた。タコはいってっていて

動かない。←死なせてしまったタコと同じだ「なあ」と思った。となりの水そうにいた、イカはほとんど泳いでいた。ちかうブースにいた、クラゲはゆっくりただようように泳いでいた。

なぜか今まで、タコ、イカ、クラゲは、同じなかまで、そっくりだと思っていた。けれどまったくちかう生き物だと思いました。↓ぼくがそれぞれちかう生き物だと思ったわけ



かまだし思。見た目も全ちから。海の中での行動かちかう。行動の違いは調べているうちに、エサのちかいなんじゃないかと思いました。エサのとけり方

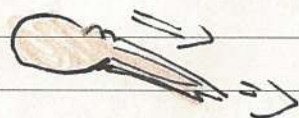
タコ	カニやエビ、貝をエサにしているので、水底にいる
イカ	泳いでいる魚をエサにしているから、よく泳ぐ
クラゲ	ただよっているプランクトンをエサにしているので、ただよっている

163. ⑬ なんで動いてくれないの の理由は、きっとエサが自分から近づいてくるのを今か、今かとまっているからなんだと思った。

タコは、たまりに泳いで見せてくれました。その泳ぎ方は、

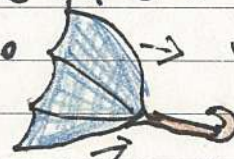


足で水をおすように



足をといて
シューとすすむ

ひく り返したカサをいきよく
急げきにもとに返したように
水を押しているように見えました。



いきよく

といる

観察図かんを作る!

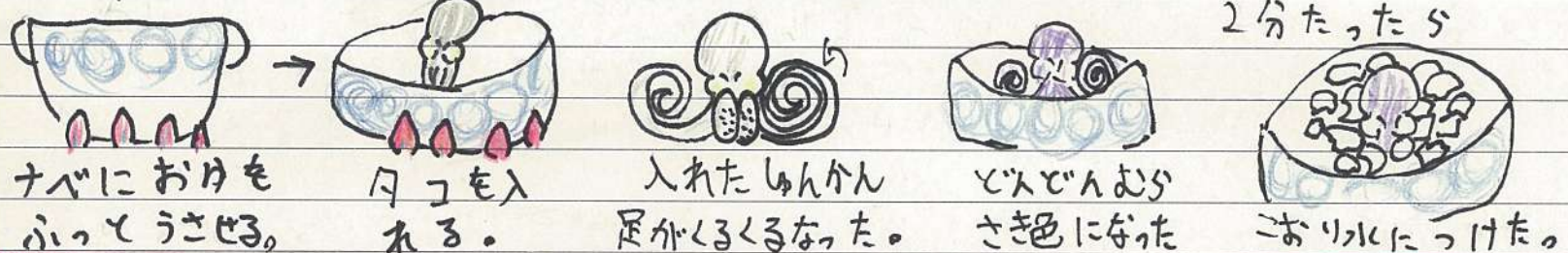
No. 8

祖父の友達と、ぼくのっりのしょうか、ぼくのため
にタコを持ってきてくれました。持ってくる途中
で死んでしまったタコ2匹とまだ元気に生きているタ
コ1匹を観察してまとめることにしました。

- ① 死んでしまった大きい方のタコを身体そくていする
- ② ゆがいた予想をたてて、①のタコをゆかく
- ③ ゆがいたタコ、ゆがいていないタコをみくらべる。
- ④ それぞれ、かいほうしてかんさつする
- ⑤ 水族館のタコの観察記ろくや、元気に生きているタコ、
死んでしまったタコのけっかを絵や言葉にして、No9~1011
の「ぼくが目を見たタコの観察図かん!!」にまとめる。

ゆでると小さく
なると思ったか
ら、大きい方を
えらんだ

〜タコをゆでた〜



ナベにおりも
ふっとうさせる。

タコを入
れる。

入れたゆかん
足はくくるな

とんどんむら
さき色にな

2分たった
こおり水につけた。

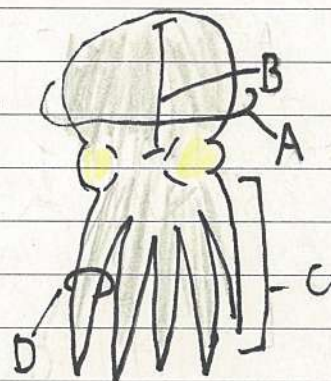
死んでしまった、大きい方のタコ

ゆかく前のタコ

予想

ゆがいたけっか

見なおして
気づいた事が
Aの2倍か
C!!
Bの約3倍
か!!
全部のタコの
長さをはか
おけはよ



全体的に
A 8.5cm 全体的に
B 5.5cm 頭が
C 21cm すごく
D 5cm ちが
きず、足の太さ
か

体重 166g

全体的に

体重 134g

〇イカのように白

〇血の色に近い赤になる

むらさき色 きつは入は白

〇ふにふに

〇ガムテープにすなをつけたよ
うなザラザラした感じ

つるつるふにふに

〇目の色はうすい黄色

〇ものすごくうすい黄色

目か小さくなって真、白

死んでいても、きゅうばん
はくっついてくる。

〇くっつかなくなる

かんたんにひっつかなくな
ったが、
ゆびでギュとおしたと少し
ついた。

〇けしごおくらいのかたさ

〇けしごおくらいのかたさ。

ぼくが目でみた タコの観察図かん!!

④ 近くでひふをよく見てみると、てびのうこみだいなもようにたくさんの点があった。 No 9

図かんや本にはたよらず、自分の発見や、かんじたこと、考えたことなどをかん



なださが

⑤ おこから見た時

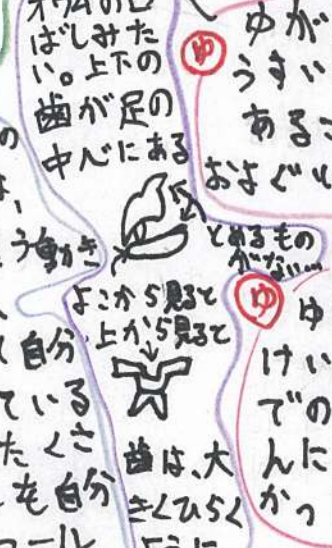
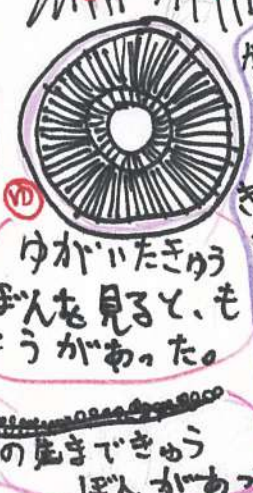
きゅうはんは、生の時とゆかいたときとはあなのゆるやかさがちがう↓

⑥ 急

よこから見た時

⑦ おさしめで食べる赤いきれいな色にならなかった。なんでたろう。

⑧ 元気に生きているタコ
⑨ 死んでいるか、ゆかいていないタコ
⑩ ゆかいたタコ



⑪ 死んでいるのに、このまぶたの色が、ときどきにうごいていた。これを、使った、きいた、するのだと思う。おしりだと思って、口だった。

タコのあしの長さや、あしのはえている所は、左右たいし

⑫ ゆかいたから、タコの歯がみえなくなった。中に入りこんでしまった。

⑬ ゆかいたから、水かきのようなうすいまくが足と足の間に、あることに気づいた。これが、おさぐりきに1度立つはず。

⑭ ゆかいたタコの足を切ると、しんけいのようなくたが足先にまでびていた。でも、きゅうはんにつながっているものはな

⑮ ゆかいたが、あたきか小さくなり、内側うがとび出てきた。

⑯ 目の近くのひふに、とけか出てきた。

⑰ おさしめで食べる赤いきれいな色にならなかった。なんでたろう。

⑱ 元気に生きているタコ
⑲ 死んでいるか、ゆかいていないタコ
⑳ ゆかいたタコ

No. 30 のカニに、切られたと、思っていた所の一つは、切られたのではなくともとあっていた。

⑳ ゆかいたが、あたきか小さくなり、内側うがとび出てきた。

㉑ 目の近くのひふに、とけか出てきた。

No 10

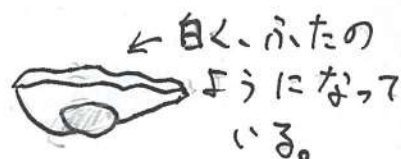
たこの目



玉付……



(反省) → このなぞをぼくのかでとくことは
できなかった! くやしい!!



白っぽくまくをやぶる
と、つめでキズをつけ
があるかたさの少し
不とう明な玉、か出てきた

タコの日



バンカルヤマネユ



× カネ カイマン



A どうして昔色なのか

肉食動物は、骨をさだめたからポイントで
そのえものだけを見ればいいので、たてにほそ長い。

トカラヤギの目は地面に平行!!



草を食べるとき、下を向いても、黒い目
は、地面と平行になる。下を向いて
いても、まわりをよく見ることもできる。

タコはとうなの か 調べたけれど、この時にはもうまき
ているタコがいなかったのて、たくさんの田かんの写真
を見てみた。すると、なんとなくタコがくっくいている
面に対して黒目が平行な気がした。

人オウヤギの黒目は、日月いとき
一、くさいとき二でちかう。タコの黒
目の大きさが、カあって見えたのは
明るさの調整をしているからなん
だと思った。



ぼくが目で見えたタコの観察図か No. //

「温度」タコは「温度管理が大切」と、
つりのしように教えてもらった。しよは、タ
コを持ってくる時、ペットボトルに水を入れて
凍らした物を何本もクーラーバッグに入れて
いた。タコは冷たい所が好きなのかなと
思った。ぼくは氷をとう明なビンに入れ
て7タもして、タコの水そうへ入れてみた。

(結果) タコはぼくにけいか
いしているのか、体の色も赤や
茶色にかえながら、ゆっくりビ
ンへ足をのぼしてかみついた。そして冷たく
気持ちよかったのか、ビンの横に移動して、
ずうとそこにいた。とう明な色が見えてい
るのかな? それとも温度を感じて移動した
のかな? と思いました。

しよか持ってきていた凍ったペットボ
トルも1本入れてみた。ペットボトルはタコが
はなれた所でうかづういていた。5分後...

冷たい物にかこ
まえるようにして
タコは丸まっていた。
(分かったこと) タコはあたたかい所よりも
冷たい所が好き。

「体の色」ぼくはタコの体の色について
知りたくて、たまたま近くにあった物を水そうに
入れた。①タコが入っていたオレンジ色のネット
②ローマン
③茶色のビールビン
④お茶のペットボトル

(結果) ①すぐにネットの色にかわった。
ネットを出すと元のうすい茶色にもどった。
②タコ自体に反応がない。ローマンの横を通
った時も色に変化がなかった。
③タコがビールビンの横を通った時、ビールビ
ンの近くだけ茶色に変化させながら移動した。

④ローマンと同じで反応がない
(分かったこと) 緑色に反応しない。う
いている物に反応しないのかと考えたけど、う
いているオレンジのネットには反応した。タコは
体全体がじゃなくて、部分部分で細かく色
を変えることができる。

「ざたい」タコも石とかほしいかな...と思
ったので、石のような白っぽい、よごれたサング
のしかい??をタコの水そうに入れてあげた。

(結果) タコはビュ
ーとサングによってきた。足をサ
ングにくっつけた所から色を
白っぽく変化させて、体をギュッとちぢめて、あ
いう間にざたいして見えた。

(思ったこと) タコはいっしんで、自分か
ざたいしやすい物を見分けられるんじゃないかと
思った。それは、ローマンやお茶のペットボトルを
入れた時は反応しなかったし、ビールビンでは
体の色の変化は見せたけど、ざたいしようとはし
なかったのに、サングのときだけは入れた瞬間
かんに移動してざたいをしたから。

〜 2時間後 〜

ビンとペットボトルの氷を交換しようとして水
をのぞくと、サングが移動していた。

ここにあったのに
移動して
タコが移動させたとき考えられない。カモシ

「何色に変化できる」タコはどんな色まで
変化することかできるんだろうと思い、タコが冷
たい所にくるのを利用した実験を考えました。

氷を入れる、とう明のビンにカラーセロハン
を入れて、氷もたっぷり入れて水そうにセットする。

色は、①ピンク ②赤 ③緑 ④青 ⑤黄
を用意しました。1日1色で実験する。

(結果) ①ビンにあたっている
足が少しづつ色がかかった。でも、ビンにあたっている限り
すぐ時間がかかった。ビンに近に所だけ色か
かかっていて、他はサングにざたいしている。

② ①よりはビンにあたっている所が赤かった。

③ セットして習い事へ行っていて帰ってきたら、
まっ白だった。えっ? と思って見ると死んでしま
っていた。水そうの水は全てとけてしまっていた。

④⑤ 死んでしまっておかしくなかった。

(分かったこと) サングにざたいしながら、ビン
にあたっている所だけ色をかえる。

(反省) しよに温度管理が大切だと言
われていたのに、もっとたくさん氷を入れておけ
ばよかった。タコはあたたかいと死ぬことがわかった。

ぼくなりには、色々な方法で、タコをとるのになう
戦したけれど、金ったくタコがとれなかった。タ
コをとれる気配さえも金ったく感じなかった。
ぼくは、タコをとる所を見たくなかったので、タコ
漁をする人をさがしてみしました。

① 魚市場ツアーや魚のイ
バントをよくしている
鹿児島県漁連を調べて
電話をしてみました。

ぼくは、
人にちは
自由研究でタコを調べ
ているので、タコ漁を
している人に会って話
をしてみたいのしょう
かいしてもらえません
か？

と言いました。すると……
鹿児島市漁業協同組合
をしょうかいしてくれま
した。

② 鹿児島市漁業協同組合
に電話しました。

ぼくは、会話①と同じ
ことを言いました。す
ると……

たこ漁もしている、さこ
さんをしょうかいしてくれ
ました。

③ たこ漁をしている人に
電話しました。

人にちは
さこさんですか。自由研
究でタコを調べている
ので、ぜひお会いして
色々話しをしたいんで
すけど会ってもかうこ

とができますか。でき
れば、タコ漁の道具も
見せてもらいたいんです
けい見せてもらえませ
んか。
と言いました。すると……

「タコ漁もしている所を
見たいの？」
と聞かれたので、やったーと
思って、元気よく

「はい」
と言うと
「海づり公園橋の上で6
時30分に待っている
ね。」
と言ってもらえた。

タコ漁のしおり

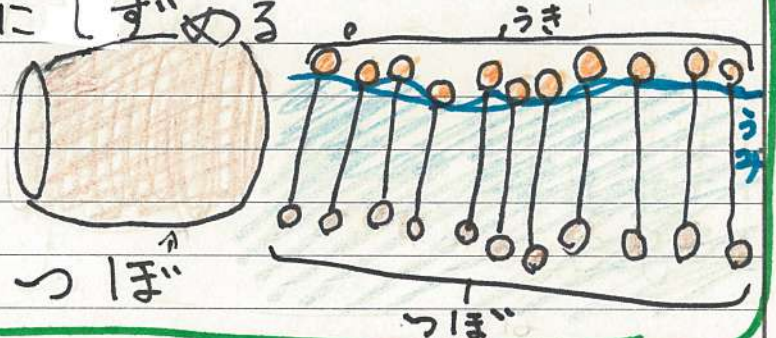
- ・く待ち合わせ場所…海づり公園
- ・く日時…8月6日(明) 6:30

目的

タコ漁とは、どんな
なことをするのか知る
ため。

予想

花びんのような形
のつぼを1こずつ海
にしずめる。



6:20 海づり公園 さこさんが待っていてくれた。

6:25 船つき場に さこさんのおくさんが、船の上
とう着 で、えさの準備をしながらか待って
いてくれた。

6:30 タコ漁へ
出発進行!



海って最高!
風がきもちいい

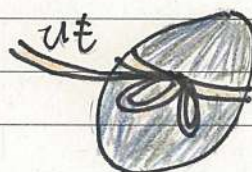
えさについて——→
えさは、カラスガイ
でした。自分達で船
や岩場などについて
いるカラスガイをとってきて、
えさにしているそうです。



えさかとれないときや、えさの
少ない時期は魚市場に行つて、
えさを買ってくるそうです。

本当は、カラスガイよりもカニ
の方がタコの食いつきがよいと
おくさんが教えてくれました。

6:38 白いハッポウ
スチロールかう
かんでいる所で
船が止まった。



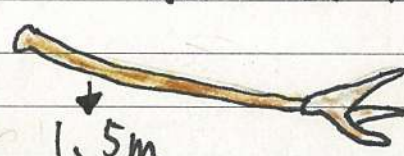
カラスガイ カラスガイ1つ1つにひもを
むすびつけていた。

6:38 ハッポウス
チロールを船
へ回しゅう。



回しゅうした
ハッポウスチロー
ルは船の足元に
収納。

やりのようなぼうをつきさし
て、船の上に引き上げた。



ハッポウスチロー
ル

1.5m 位の長いやりのようなぼう → ハッポウス
チロールにひもがっ
ながっていた。

6:40 ハッポウス
チロールにつ
ながっている
ひもを船に、
引っはり上げ
た。



↑
手で引っはり
上げる。

手でひもを引っはって、その
ひもを、かっ車みたいな物か
こついているきかいに引っかけ
てきかいの力で、ひもをどん
どん引き上げていった。



引き上げる早さは、
きかいの上についてい
るレバーを動かして、ちょ
うせいです。

きかいで引っはり上げる。

6:42 どん どん ひ
もを船の上に
引き上げてい
く。



ずっ と ひ も を 引 き 上 げ て い て
も の あ じ い 長 さ だ な っ た っ た 。

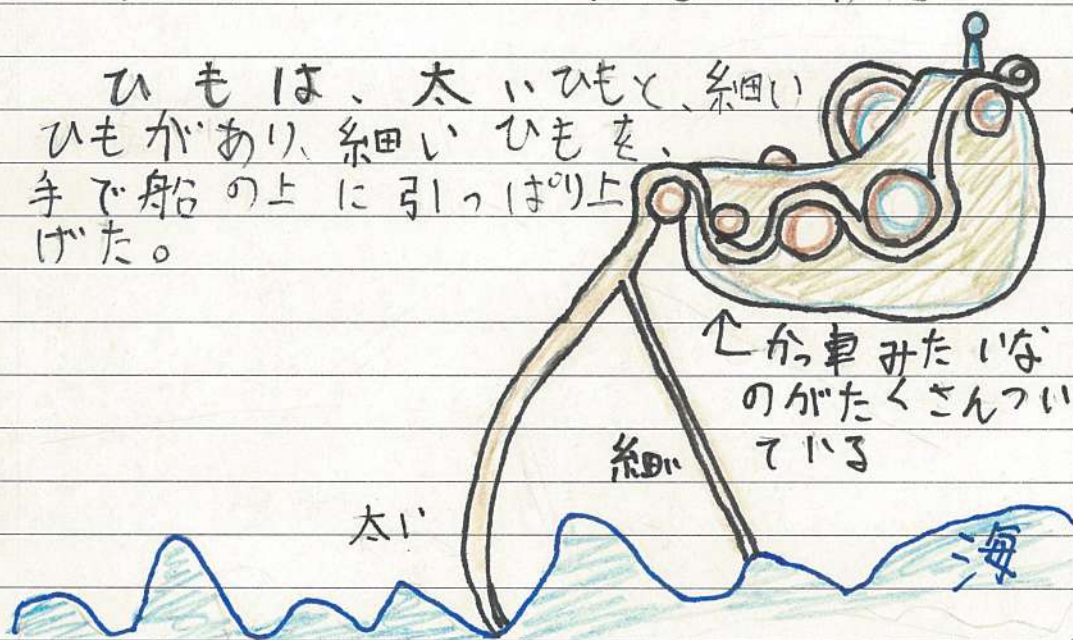
ひ も が 2 つ に 分 か れ て い る 所
か 出 て き た 。

レ バ ー で き か い を 止 め た 。

6:43 ち ゃ 色 い 物 が
海 の 中 か ら 見
て き た 。



ひ も は 、 太 い ひ も と 、 細 い
ひ も が あ り 、 細 い ひ も を 、
手 で 船 の 上 に 引 い ぱ り 上
げ た 。



6:44 ち ゃ 色 い 箱 を
船 へ 引 き 上 げ
た 。



ち ゃ 色 の 箱 の 中 に は 、
タ コ の え さ の カ ラ ス か
イ が 入 っ て い た 。



カ ラ ス か イ が 死 な な い よ う に 、
海 に し ず め て 生 か し て い る 。

6:45 2 つ 目 の ち
色 の 箱 を 引 き
上 げ た 。

1 つ 目 は 、 箱 の フ タ が 開 ま っ
て い た の に 、 2 つ 目 は 、 箱 の フ
タ が 開 い て い た 。

6:45 3 つ 目 の 箱
を 引 き 上 げ た 。
フ タ は 、 開 ま
っ て い な か っ
た 。 (タ コ は 入
っ て い な い)

え さ が こ ぼ れ 出 て し ま っ た の
か と 心 配 し た が 、

この箱はタコつぼだった!

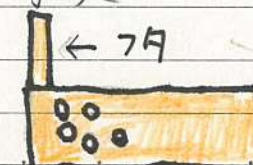
タ コ つ ぼ と い う よ り も タ コ 箱 だ
と 思 っ た 。



予想



事実

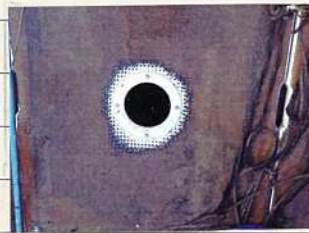


6:47 4つ目の箱
も引き上げた。
つたが開まっ
ていた。

ドキドキしていると、「タコが
入っているよ」とさこさんが教
えてくれた。

6:49 タコを出す
じゅんび

タコつぼならぬタコ箱を、
船のあなの前に置いた。



船に乗りこんだ時
このあなは何だろう？
と、足元にあいている
あなが気になっていた

6:49 タコ箱オー
ポン



タコ箱のつた側があなの前だ
った。

タコ箱のつたを上を引き上げ
てつたをあけた。

6:49 タコ登場



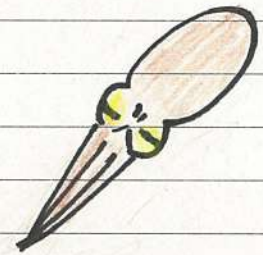
待ちに待ったタコが「ニユル
ニョロ〜」と出てきて、船のあ
なの中に入る...

と、思いきや、体をのばして



「キューン」と、

とび出した。



6:49 タコ大あばれ



あな しゅんはつかか
すごーい!!

タコは、「ミチミチ」と音を出
しながら、どこかへにげようと
した。タコはつかまえられそう
になると、きゅうばんで色んなと
ころにくっついて、さらに大き
な「バチバチバチ」という音を出
した。

6:50 タコほかく



さこさんは、タコのいっしゅん
の動きをみて、ガシツとつかま
えた。

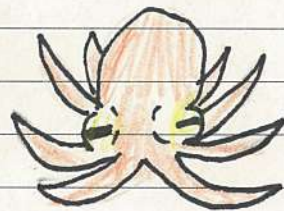
6:50 タコをあなた
に入れる。
手であなたに
おしこんだ。



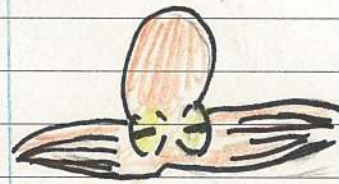
あなの中はど
うなっているん
だろう？

タコの足が広がっている時は、
すごい力で、ぜったいにとれない。

とる時は、タコが足をまよめ
たときをねらう。



とれない



とれる



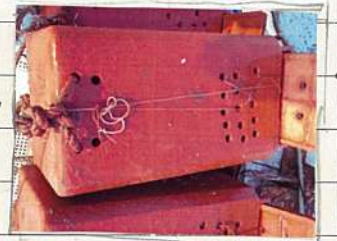
とれる

タコを出した後の箱に、じゅん
びしていたカラスガイを糸長い
ぼうを使ってひもをひっはき
出して箱の上でむすんだ。

6:50 空になった
タコ箱にえさ
をつける。



えさをとり
つけたタコ箱



↑カラスガイをむすぶひも。

6:51 えさをとり
つけた箱は、
作業のじまに
なさない場所
に、なかべて
いく。



タコ箱を開いた箱をもつとき
けるときから、

えさをとりつ
けてなげべる
まで、ずっと
同じしせいで
作業していた。
ぼくは、漁し
さんで、すご
いんだな。と
思いました。えさをつけるとき



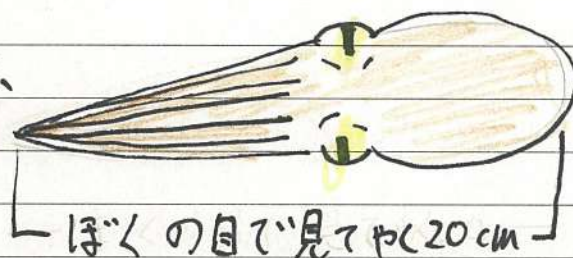
6:52 やんやんタ
コ箱を上げて
いく。

タコがかかっているか、かくにん
えさが付いているか、かくにん
して、付いていたが、えさをと
りつけた箱といっしょになげべる。
タコが入っていたらタコをあ
なに入れて箱にえさをつける。

6:55 小さなタコ
が入っていた。
箱を海からあげるときに、
箱からこぼれる水の量で
タコの大きさがたいたい
わかるそうです。



さこさんは、
「こういうタコ
はね……」と言
いなから、タ
コを海ににかし

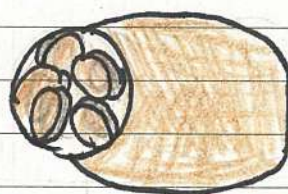


7:00 タコがタコ
箱に、サング
を入れている。

「タコは今、産卵の時期で、
タコを産む時、メスは、石や
貝からなごをはこんでくる。
と、さこさんが教えてくれまし
た。

No3 「ほくとタコ
の2週間」の④

タコが、アサ
リをタコつぼの
中に入れていた
のは、自分のす
みかを作ってい
たのかもしれな
い。



さこさんのおくさんが、
「タコは、頭がよい生き物だから
色々な物をはこんで来たり、動
かしたりして自分のすみかを作
るんだよ。
と、教えてくれました。

この話をきいて、ほくはかっ
いたタコのナゾが、1つかい明さ
れたと思いました。

No11 「ぎたい」のサングをう
ごかしていたのはやっぱりタ
コだったんだ。

その後引きあげたタコ箱にも
さこさんの言っていたとおり、
石や大きめの貝から、サングが
入っている箱がありました。

7:14 フタが開い
ているのにタ
コが入ってい
た！

産卵の時期には、メスのタコが

箱にかかって、その箱の上にオスの
タコがのっかてあがる
時もあるそうです。



「たまにフタが開いているのに、
中にタコが入っているんだよ。
だから、フタが開いていても、
中もしっかし見てかくにんするこ
とが大変なんだよ。」

と、おくさんが教えてくれまし
た。

こあされたタコ箱

7:14 フタがこあ
されているタ
コ箱が上かっ
た！
すごい力だ
が！



「大きいタコが
タコ箱の中に
入って、フタ
が開まると、にげるためにフタ
をこあしてしまふんだよ。
と教えてもらいました。

7:14 フタが開いて
いるのに、えさがない。
小さいタコがタコ箱に入ると、
えさだけ上手にとってにげるそ
うです。

フタが開っ
ているのに、
タコがい
ない。
フタが開っ
ていて、さ
んごや貝
だけが入っ
ているの
もあった。

No. 3 ぼくも、タコと2週間、
⑥タコがい
ないとい
いで、タコ
は、にげ
る名人で
にげる方
法を考え
て天才だ
と思っ
た。

7:19

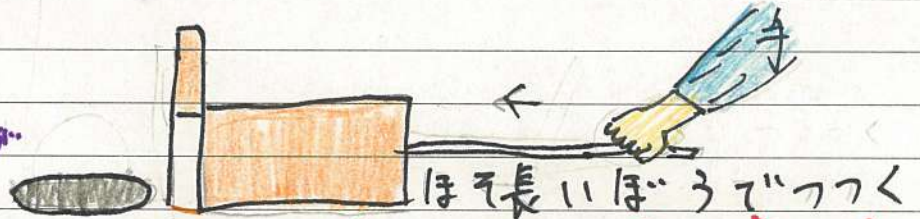
ぼくは感動した!!!

タコ箱のフ
タを開けても
タコが出
てこ
ない。
ほそ長い、えさをひっかける
ぼうを、タコ箱のうしろにある
あなに入れてつついた。

ほそ長いぼうは、エサをとりつけ
るときにつかうぼう。出てこないタコも
このぼうをタコ箱に入るとほとんどか
すぐたににげだして出てくる。

でも……出てこない……。

不思議に思
ったさこさん
が中をのぞい
て見た。



たまごを産んでいるよ!

タコ箱の中を見ると
めっちゃうすい白、ほい黄色のた
まごが、キラキラ光って、シャ
ンデリアみたいになれさかっ
ていた。



タコ箱をた
たいてもタコ
は出てこない。

タコの産卵の時
期には、タコ漁は
おあり。おぼんの前には
もうタコ漁はしない
そうです。ぼくはきつ
ぱりタコ漁にまにあ
った。産卵の時期に
漁をしないことでタコの
数をたもっているのかな。

たまごを守るため、お母さん
ダコは、ぜったいに出て来よう
としない。

「お母さんタコは
たまごを産むと、
たまごにきらいな
水をおくり続けて、
最後は、つかあは
てて死んでしまふ
と、おくさんが教え
てくれました。ぼ
くは、お母さんて
すごいんだなと思いました。」



タコが出て
来ないので、
たまごをさき
にとった。

タコのたまごを、
1束ぼくの手に乗せて
くれた。さこさんはタ
コのたまごも食べられ
るんだよと、言っで食
べて見せてくれました。カブソコ
のような食感だと言っていました。
ぼくは、家にもって帰って育てよ
うと思っ たので食べませんでした。



7:27 お母さんダ
コが出てきた。

たまごをとったタコ箱も、しま
にならない所においておいた。
5分後…… やっとお母さんダコ
が出てきた。なんか、かわいら
うだな。

7:30 タコ箱の引
き上げ完了。

足元には、ものすごい
長さのひもが引き上げ
られていた。



7:31 ここからは
あぶない作業
になるから、
うしろで見て
いてね。」とい
われた。

ぼくたちか、うしろに行っ
ていすにすると、船
は、すごいスピード
で走り出した。

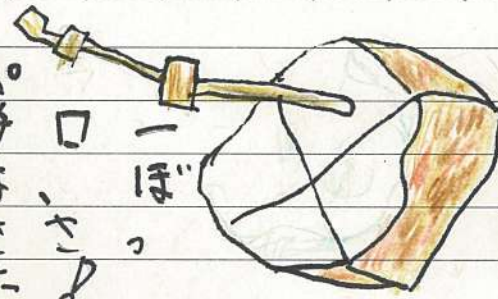


さこさんは船が出
てからずっと立ちっ
なし。スゲー！一度もすわ
らない。

7:32 船の速度が
ゆっくりにな
た。

ハッ ホウス
チ ロールを海
におとした。

ハッ ホ
ウスチロ
ールには、
うかささ
ていた♪



1分ほど、船を走らせた。

7:33 タコ箱を船
を走らせなが
ら入れていく。



タコ箱を海におとす
と、バシヤンと大きな
音と水しぶきかした。



4分くらいで、全てのタコ箱
を海に入れた。終わった。

7:37 船のそうじ
をした。



海の水をくんで、作業してい
た所にどんどん海水をかけてそ
うじした。

「ここからは、あがない
作業だからね」と言われた
時から、船つき場へむかっ
ていたことに船つき場につ
いてから気付いた!

7:43 船つき場と
うちゃく。

ぼくのために、いつもより
おそい出発だったと知りました。
ありがとうございます。

船つき場には、一足先にタコ
漁を終えたおじちゃんか休けいを
していた。

7:47 カラスか
いのし分け。

次に使えるえさか、使えない
えさか、し分けていく。

あひ 育てるはず
のタコのタコゴを
なくしてしまった。



つかえるカラスかを、死な
せないために、かごに入れて、
海の中にしずめる。かごは、し
めている船の横でハッホ

7:48 カラスか
を生かすかご
に入れる。



ウスチロールを
使ってとり出し
やすくしている。



7:48 あなの中オ
ーフン



あなの中は、海水が
入っていていけすのよ
うだった。



タコが9匹入っていた。

7:53 タコを生か
すかごに入れ
る。



船の横にういているハ
ッホウスチロールについ
ているひもを引っ張り上
げて生かすかごをとり出
す。



あみを使ってタコを
生かすかごに入れてい
く。

7:56 タコを海に
しずめて生か
す。

「今日とまたタコは、明日、オ
レンジ色のネットに入れて、朝
3時に魚市場にもっていく。

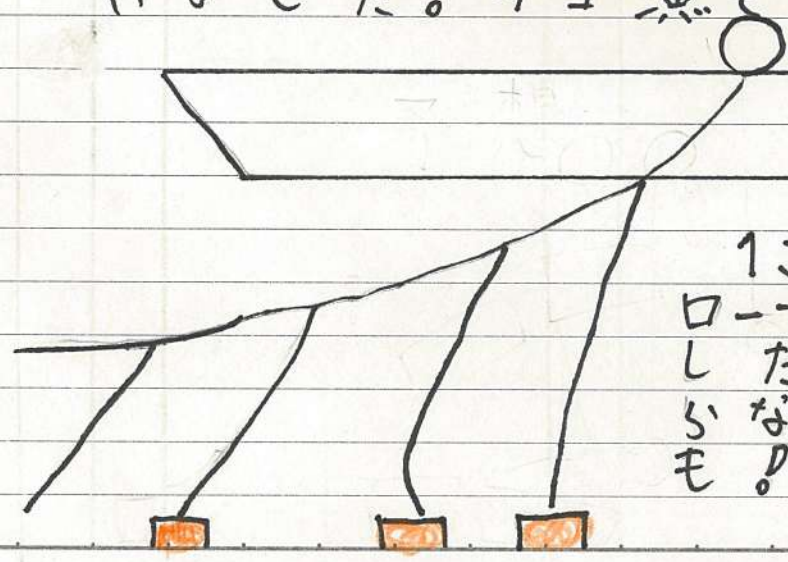
8:00 タコ漁終了

ネットに入れる理由
⑥市場でおもさをはかる時に
にげたり、かみついてこな
いかげんり。

⑦1つの生けすにたくさんの
タコを入れるので、タコが
けんかしないようにするため。

予想の結果

「タコ漁み」着タコ漁のしおりで予想を立てて
いました。タコ漁をけいけんしたけっかは……



ぼくの予想とは全た
くちがった。

1に1に海に入れるけど、1本の
ロープでつながっていた。もしか
したら、なみや風でハラハラにな
らないように工夫されているのか
も!

タコ漁質問コーナー

No. 22

Q1 タコ箱って何で出来ているんですか？

A プラスチック



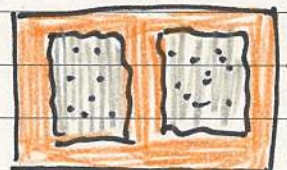
Q2 プラスチックなのにこんなにおもいのる

A 自分達で、セメントを箱のうかにぬっているから約7~8kgある

Q3 どうして、おもくするの？

A ぼくの予想では海にしずめやすいためだと思っただけど、それだけでなく昔よりしおの流れがはやくなっていて、タコ箱がかるいと、しおで流されてタコ箱どうしでかきまわりあってしまうためおもさが必要

タコ箱うさ



↑ ↑

コンクリート

Q4 タコ箱で、気を付けていることは何ですか？

A ふじっぼがつかないように気を付ける。タコはキレイ好きでふじっぼをいやがる。

Q5 ふじっぼがつかないように工夫していることは何ですか？

A ふじっぼがつかづくするためにタコ箱にポンキをぬっている。ポンキのにおいをとるために何日も外でかかす。

7kg~8kg. こんなにおもたいものを持って作業してたんだ。漁師さんは力もちたな。

Q6 今日海にしずめたタコ箱は何日ぐらいいておくのですか？

A 4~5日おいておく。

Q7 4~5日たっまで漁に出ないんですか？

A 今日しかけたタコ箱は、1本のロープに50こついている。それをも1セット「1本」として、全部で8本もっている。だから、1日に、1本上げる時もあるけど、2~3本上げる日もある。

1本 50こ
50の×8本
= 400こ
タコ箱も400こも持っているんだ。

Q8 どうして、その日その日で上げる本数がちがうんですか？

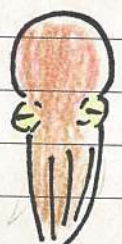
A としかから。暑い日や自分の体調にあわせて漁をする。タコ漁も高熱化であかいない。昔は、タコもたくさんいて1本(タコ箱50こ)入るとタコが50匹以上とある日もあった。でも今はタコが少なくて、タコ漁をする人も少なくなってきた。(これだけではごはんが食べていけないから。)

タコを人間にしてみた

さこさんにタコをもらいました。さこさんは
ぼくがタコにかまけてケガをしないように、タ
コの口に細いぼうを入れてぐりぐりまわしまし
た。

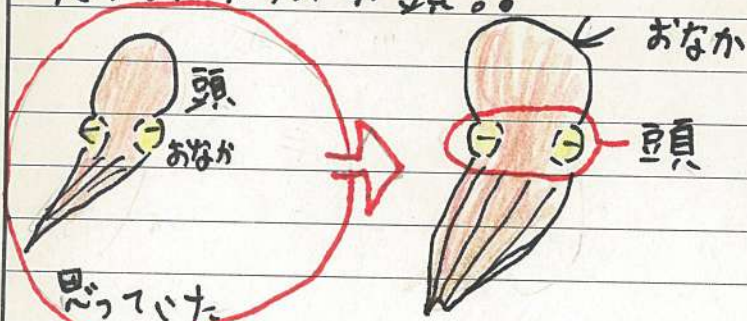


なんだかかあいそうで
ぼくは「ころさないでん
と思わず言いました。

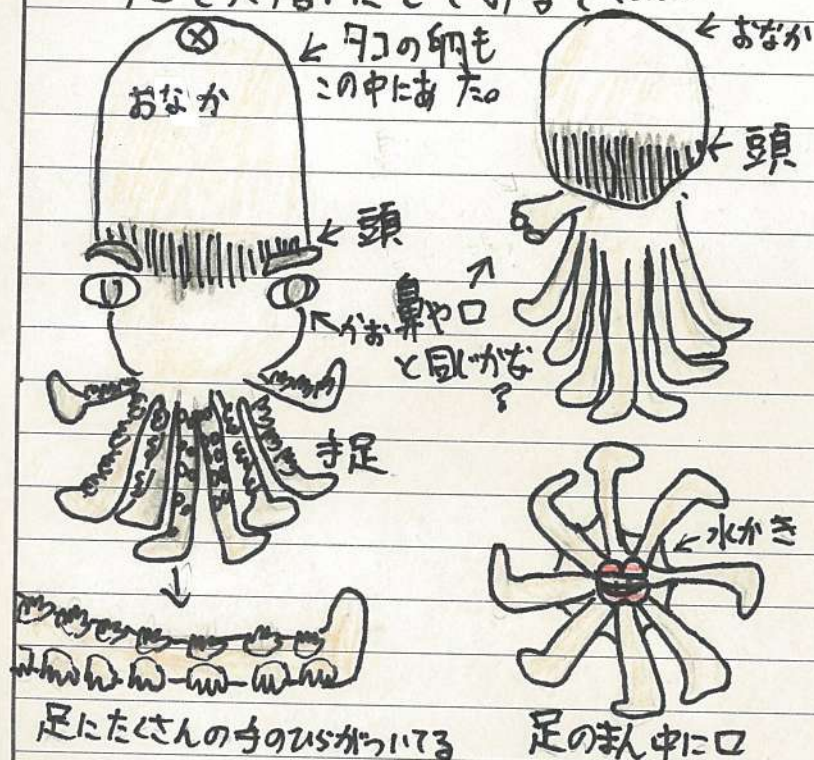


← タコの目のあたりに脳があって、
そこを口から入れたぼうでぐり
ぐりするこで、脳死すると教
えてくれました。

ぼくの死なせてしまった小さなタコは、
頭がすけていて、カニを食べた5頭に
カニがすけて見えたけど、頭だと思
っていた所がおなかで、おなかだと思
っていた所が頭!!



タコを人間にしてみると……



こんな感じなのかな?? おもしろいなって思ふ。

タコゴの食べ方

タコのタコゴは、ふっとうした
おやで30分以上加熱して、ほんすで食べる。

ぼくは、あたたかきおやと思うと、たくさん火を通したけど
食べるゆう気がありませんでした。

タコのタコゴについて

さこさんがくれたタコには、頭いっぱいの大きな
タコゴが入っていました。

さこさんは、タコのタコゴは、
ふっとうしたお湯で30分以上
加熱しないと絶対にあたるよ!



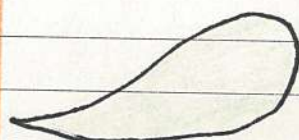
タコゴと内臓

と言いました。ぼくはえー!
とびっくりしました。

ぼくは、おなか弱いので、ちき海でタコゴ
を食べないで本当によかった……と思いました。
でも、さこさんは生でタコゴを食べたけど大丈夫
なのかな? と心はいしたけど、やっぱり
海の男は強いんだな! と思いました。

生のタコゴ

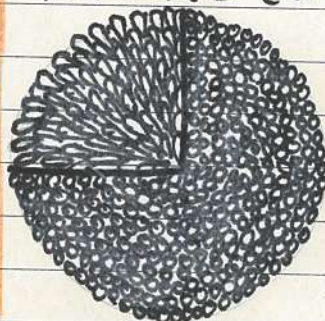
うすいかあてま5Xている
ふたふたにしてい、スライムみたい
くぼみのところはかたい
タコゴの直径は約6.5cm
かあみたいなのでタコとつながっている
この大きなタコゴのうちいかあを とると……
小さなたくさんのタコゴが入っていた。1つ
をやってけんびきょうで見ると……



タコゴのときからタコの形をしている。
大きさは「」こあくさい。中は何も見
れなかったけど、タコ箱にうんでいたタコゴをなく
さないで、けんびきょうで見ると、タコの
赤ちゃんの成長が見えたかなあと思うと、なくし
てしまったことがすこくやしい。

大きなタコゴをゆがいてみました。ゆがいてみると
まっ白になりました。

「」この小さなタコゴの、たい
ちか外で細い方が中心に
向かってぎゅちりとくっつ
て入っていることがわかりました。



大きなタコゴは、小さなタコゴ
達の集合体でした!!



タコを食べる

No. 24

観察したタコも、実験の中で死んでしまったタコも、漁のさこさんからもらったタコも、すべて美味しく命をいたたきました。

ぼくは、No.8観察図かんを作るのでタコをゆがいたけど、思ったような色にはなかなかったの、祖父にゆかき方を教えてもらいました。その後、漁のさこさんにもゆかき方を教えてもらいました。祖父とさこさんのタコのゆかき方は違ってました。

～タコのゆかき方～

- ① タコの頭をひっくり返して、内臓を取り出し、ボウルにタコを入れる。
- ② 塩を①のボウルに入れて、塩もみをした。
- ③ ②のタコを水であらって、もう一度塩もみをした。
- ④ ③のタコをきれいにあらった。
- ⑤ お湯をふっとうさせた。

塩もみをしたタコの色が黒くなった。



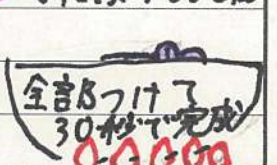
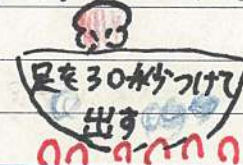
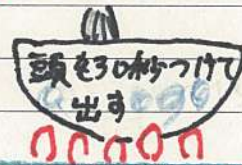
(祖父バージョン)

- ⑥ ふっとうしたら、⑦ タコを入れる



(さこさんバージョン)

- ⑥ ふっとうしたら、⑦ またふっとうしたら、⑧ またふっとうしたら



祖父バージョンは、お店屋さんでならんでいるタコのおさしみと同じ色になりました。さこさんバージョンは、祖父ののに比べると半生状態で、さしみにして食べた、今まで食べてきたタコのおさしみの中で一番美味しく感じました。

祖父の友達や、つりのしょうのタコは、たこやきパーティーをして食べました。さこさんのタコはとっても大きかったので、タコのからあげやおさしみを家族で楽しく美味しく食べました。

タコのゆかき方でも、みんな自分なりに研究して美味しく食べる方法を知っているんだなあと思いました。



まとめ

自分の命を守るためにたたかったカニ。自分の命のためにカニの命をもらうタコ。タマゴの命を守るために自分の命をつかいはたす母タコ。そして、そんなたくさんの命をいただくぼく。たくさんの命を感じた自由研究でした。大変だったことは、24ページ以内にまとめることでした。はじめはどんなことをかけばいいかなやんたけど、タコを調べれば調べるほど、かきたいことが入りきかなくなってしまって、せっかくなかきあげた紙を何回もつめて、つめて書きなおして、調べたすべてのことを書きこみました。でも、本や図かんを読んで、ぼくの考えや思ったことがあっているのかの答えあわせまではできなかったの、自由研究が終わってからさらに自分なりに調べようと思います。たこ漁の見学では、母に写真をとってほしいから一緒にきてとお願ひしたら「おれいするからいやだー。」と言いな からも、薬をのんでしぶしぶついてきた母が、タコ漁を見学して「すごい感動したね、いい勉強になったね、こんなすごい経験できないよね。」と、ぼくよりもううれしそうにしていたので、タコ漁の見学体験をひかいてみるのも、魚漁を知ってもらう活動の1つになるんじゃないかなと思いました。



自由研究をとおして、命の大切さ、飼育のむずかしさ、タコ漁について、色々なことを知りました。お世話になったたくさんのみな様ありがとうございました。